

授業科目名	データコミュニケーション入門
教員	溝口 侑
本科目のねらい	(2単位科目) 本科目は、本学のディプロマ・ポリシーの「価値判断の基礎となり、長い人生の道標となりうる教養、そして人格の形成」に対応し、Society 5.0を生き抜くための基盤となる基礎的な資質・能力を身につけることを目標とする データサイエンスやAIについて学ぶことの意義を理解し、現代社会の諸問題に取り組む際に、それらの知識を用いて適切な判断ができるようになることを目指す データについて正しい理解を身につけることで、日常にあふれる情報に対する批判的な態度を形成し、データを活用した説得的なコミュニケーションの技能を身につける
到達目標	本科目では、データサイエンスやAIについての基礎的な知識について学ぶと同時に、データ収集・分析の技能を学び、データを活用した説得的なコミュニケーションができるようになることを目指す 具体的には次の3つの到達目標の達成を目指す 1. データサイエンス・AIに関する基礎的な知識について理解をすること 2. 基本的なデータの収集・分析・解釈ができるようになること 3. データを活用したコミュニケーションができるようになること
教科書	特に指定しない。 資料は授業内で配布する
参考文献	特になし
成績評価の方法と基準	ふりかえり (20%) 課題①～③ (65%) 小テスト (15%)
履修条件 (学生への要望)	データの分析およびプレゼンテーション資料の作成と発表を行うためWord, Excel, Power Pointの使えるパソコンあるいはタブレット・スマートフォンを準備すること。 ただしタブレット・スマートフォンの場合にはBluetooth キーボードを準備しておくことを推奨する。 「平均」や「分散」等の数学的な知識があるほうが望ましいが、必須ではない。文系の学生や高校までの数学が苦手であった学生にも理解できる内容となっている。
時間外学習	毎回の授業後にふりかえりと、適宜、課題提出を求める。1回1回の授業は関連しているため、必要に応じて、自ら復習を行い、授業に参加すること。 また授業の内容によっては事前学習としてオンデマンド動画を配信する場合もある。
実務経験のある教員による授業科目	
授業計画1	オリエンテーション (第4次産業革命/Society5.0/データ駆動型社会/AI社会原則) *Zoomにて実施する。URL等は別途通知する
授業計画2	データ (調査/実験, 1次/2次), オープンデータ, 統計情報の正しい理解
授業計画3	データ解析, データの可視化
授業計画4	データ分析演習① (Excelの使い方)
授業計画5	データ分析演習② (単変量: 平均値, 分散などの算出の仕方)
授業計画6	データ分析演習③ (二変量: クロス集計, 相関係数の算出の仕方)
授業計画7	データ分析演習④ (データの視覚化)
授業計画8	データ分析演習⑤ (総合演習)
授業計画9	データサイエンス・AIの活用事例① (データサイエンティストって何者?)
授業計画10	データサイエンス・AIの活用事例② (データ・AI活用領域の広がり)
授業計画11	データサイエンス・AIの活用事例③ (AI活用における倫理上の課題)
授業計画12	まとめ・調査計画の立案 (仮説検証, 計画策定, データサイエンスのサイクル)
授業計画13	まとめ・調査計画の立案 (個人情報保護, 情報セキュリティ)
授業計画14	ふりかえり
授業計画15	
ナンバリングコード	